

2012年4月10日

## 第11回ネイチャーキッズ特派員 「ひがし北海道探検隊」参加者募集のお知らせ

～作文で選ばれた小学生10名を、ひがし北海道の湿原の自然体験エコツアーに派遣～

WWF(世界自然保護基金)ジャパンと当社では、「ネイチャーキッズ特派員」の実施にあたり、小学校4年生、5年生、6年生を対象に「大切にしたい！自然と生き物」をテーマにした作文を広く募集いたしますのでお知らせいたします。

当事業は今年で第11回を数え、これまでに100名の児童をネイチャーキッズ特派員として北海道東部の湿原に派遣してまいりました。今年もご応募いただいた作文を選考の上、10名をひがし北海道の湿原の自然体験エコツアーに派遣いたします。(ご招待)

当社では、2000年9月からスーパーマーケットの店頭やグループ企業の各事業所に募金箱を設置して、自然保護のための WWF 募金をお客様や従業員に呼びかけております。「ネイチャーキッズ特派員」は、募金活動に加えて、次代を担う子どもたちに環境教育の場を提供・支援する具体的活動として2002年より毎年実施しております。

自然体験エコツアーへの派遣はもとより、応募していただく作文づくりに取り組むことで、さまざまな場面でより多くの子どもたちが、自然や環境について考えることを願っております。

### <ネイチャーキッズ特派員の全体スケジュールと添付資料>

- ・ 募集要項 ⇒ [資料1](#)
- ・ ネイチャーキッズ特派員概要 ⇒ [資料2](#)

### <参考資料>

- ・ 昨年度のネイチャーキッズ特派員記録写真 ⇒ [資料3](#)

当資料に関するお問合せ先

株式会社カスミ 環境社会貢献部 ☎ 029-850-1824

## 第 11 回「ネイチャーキッズ特派員」募集要項

### ■応募資格

- ① 小学校 4 年生、5 年生、6 年生
- ② 選考のため次のテーマ・内容で作文をご提出いただきます。

### 作文テーマ「大切にしたい！自然と生き物」

森や川や海など自然の中に出かけ、また、そこに暮らす動物・昆虫・植物などとの身近な体験を通して「ワクワク、ドキドキしたこと」、「不思議に感じたこと」、自然や生き物を守るために、「こんなこと、できたらいいなあ」という意見や考えを募集します。

### ■応募方法

作文を 400 字詰め原稿用紙 2 枚にまとめて郵送（未発表の作品に限ります）。

作品には、応募用紙または表紙を付け、以下の内容を明記。

- ① 作品のタイトル
- ② 住所
- ③ 氏名（ふりがな）
- ④ 生年月日・年齢・性別
- ⑤ 学校名・学年
- ⑥ 保護者の日中連絡先
- ⑦ 何を見て応募したか

### ■応募先

〒305-8510 茨城県つくば市西大橋 599-1

(株)カスミ 環境社会貢献部「ネイチャーキッズ特派員」募集係

### ■締め切り

2012年5月27日（日）※ 必着

### ■選考

自然や生き物に対する関心、体験や意見の内容、文章の表現力などを総合的に審査いたします。

応募者への選考結果の通知(6月下旬)

- \* ネイチャーキッズ賞      10名……「ネイチャーキッズ特派員」自然体験エコツアーにご招待
- \* WWF奨励賞              10名……賞状と記念品をプレゼント
- \* カスミ奨励賞              10名……賞状と記念品をプレゼント

## 「ネイチャーキッズ特派員」の概要

### ■大自然と「ネイチャーキッズ特派員」

舞台となる北海道東部の厚岸町にある別寒辺牛<sup>べかんべうしつげん</sup>湿原は、日本でトップ5に入る大きさを誇る湿地帯で、いろいろな動物や植物が生息し、多様性に優れているところです。そのため、湿地を守るため国際条約である「ラムサール条約」の登録湿地にもなっています。また、湿原の周辺にある森林やその中を流れる川も、多様な生き物を育てています。

当ツアーは、「豊かな自然が育む多様な生き物の生態を知る」をテーマとして北海道東部の大自然に親しみながら、湿原や森や川が多様な生き物を育てていることを体験し、多様な生き物が暮らしていける理由を知ることを目的としています。これらの体験を通して、生物の多様性を理解して子どもたちが自ら自然環境を守る意識を持ち、行動ができるようにサポートしていきたいと考えております。

### ■ツアー概要

- ・ 期 日            2012年7月23日(月)～26日(木)の3泊4日
- ・ 集合・解散      羽田空港
- ・ 活動場所        北海道厚岸郡周辺(別寒辺牛湿原および釧路湿原)
- ・ 費 用            無料(※ 集合前・解散後の費用は各自のご負担となります)
- ・ 主 催            WWFジャパン、株式会社カスミ
- ・ 後 援            茨城県教育委員会

### ■ネイチャーキッズ特派員のカリキュラム

- 【7/23】            『仲良くなろう』  
オリエンテーション
- 【7/24】            『湿原と川の生き物を探ろう』  
別寒辺牛川でカヌーツーリング  
釣り・水生生物採集と別寒辺牛湿原の座学  
ネイチャートーク「幻の魚・イトウ」
- 【7/25】            『多くの生き物を育む大自然を実感しよう』  
バードウォッチングや生き物探し  
究極の湿原を体験  
森～低層湿原を散策  
活動のまとめ
- 【7/26】            『生態系ピラミッドの頂点に君臨するタンチョウ』  
タンチョウについての座学と飼育個体の見学  
(※ 日程・カリキュラムは気象条件等により変更になる場合があります。)

## 第10回「ネイチャーキッズ特派員」活動記録より



(北海道東部・霧多布湿原にて)

「湿原の秘密を探る」をテーマに、北海道の大自然に親しみながら湿原の成り立ちや役割を学び、人とのつながりを考える4日間になりました。